

『紫白の猛き徴』

全国制覇を目指して



主将

金森 栄人

昨年度の花園では、初戦の明和県立戦に勝利し、三回戦でこの大会を優勝で終えた東海大学付属仰星高校と対戦しました。秋の練習試合では展開力を見せつけられ、大差で敗れた相手に対し、モールで勝負を挑んだ結果、同点ではあったもののトライ数の差で惜しくも敗れてしまいました。その悔しい結果を受け、今年の新チームはスタートしました。

東北新人大会で優勝し、臨んだ全国選抜大会では予選リーグで東福岡と東海大学付属仰星高校に敗れ決勝リーグに進むことができませんでした。自分達で良い流れをつくることができず、相手にペースを握られてしまったことが大きな敗因だったと思います。また、今年是全国の強豪校との対戦経験を増やすため、サニックスワールドラグビーユース交流大会にも出場しました。国内だけでなく、海外の強豪と試合をすることができ、非常に良い経験になりました。しかし、これらの大会を戦い抜く中で怪我人が多く出てしまいました。春の試合では秋田中央高校に敗れ、満足のいく結果を出すことができませんでした。少しずつ怪我人も減り、迎えた夏合宿では課題であるディフェンス力やコミュニケーション能力を高め、よく日々の練習を頑張つてきました。菅平合宿ではこれらの部分を意識してゲームを行うことができました。ここでの経験を必ず花園予選では活か

して勝利したいと思えます。花園予選まで残りあとわずかとなくなりました。勝ち上がるためにはチーム、個人共にもっと成長しなければいけません。昨年の花園での悔しい敗北を乗り越え、全国制覇目指すためにも自分達のラグビーを前面に出し、力を出し切りたいと思います。

また、沢山の人々に支えられているということを忘れず、感謝の気持ちや秋工ラガーマンとしての誇りと情熱を常に持って試合に臨みます。そして、このチームでできる限られた試合を一戦一戦大切にし、乗り越えていきます。

全国優勝への歩み



副主将

土肥 恵太

伝統のあるラグビー部へ入部して約二年半が経ちました。日々厳しい練習に取り組み、力が徐々に付いてきているということを実感しています。

新チームになり、3年連続の花園出場と全国優勝を成し遂げるため、冬期間は全国の強豪に負けない体づくりを行ってきました。その結果、東北新人大会では優勝することができました。しかし、続く全国選抜大会では予選リーグ一勝二敗、サニックスワールドラグビーユース交流大会では全敗で十六位という悔しい結果となってしまいました。また、怪我人も多く、県内でも思うような結果を残すことができませんでした。これを機に、自分達には何が足りないのか、どうすればレベルアップできるのか一人ひとりが考え、全体では練習中のコミュニケーションを増やすなどして取り組んできました。その結果、チームの調子も確実に上向いてきています。

花園予選では、これまで指導してく

ださった監督、コーチ、OB、支えてくれた両親など全ての方々への感謝を忘れず、秋工らしく激しく気合の入った試合をし、まずは三年連続で花園への切符を掴み、16度目の全国優勝を目指して頑張ります。

花園に向けて



副主将

落合 蓮

昨年の花園では、優勝した東海大仰星高校にスコアでは引き分けたもの、トライ数の差で次戦に進むことができませんでした。非常に悔しい気持ちの反面、優勝校と互角に戦うことができたということは自分達も頑張つていけば全国の頂点を狙うことができるという自信にもなりました。この試合を受け、結果には満足せず、次の花園こそは先輩方の結果を必ず越えようと思心し、新チームがスタートしました。

迎えた東北新人大会では先輩方のサポートのおかげで三年連続の優勝を掴み取り、全国選抜への出場を決めることができました。しかし、全国選抜では予選リーグ一勝二敗と残念な結果となり、全国で勝つことの難しさを改めて思い知らされました。この大会では花園で東海大仰星高校を苦しめることができたモールのコンクトロールなど様々な部分において課題が見つかりました。その後の練習において少しずつ改善することができ、このまましっかりと積み重ねていくことで、自分達にとつて必ず大きな武器になると感じています。

今年で三年生は最後の花園となり、無一日の練習を大事にし、後悔の無いよう全力を尽くして戦います。そして、一六度目の全国優勝に向けてチーム一丸となつて頑張りますので応

援よろしくお願ひします。

秋工ラグビー部に入部して



一年生代表

川瀬 翔太

私たち一年生二十二名が秋工ラグビー部に入部して約半年が経ちました。入部当初は、慣れない環境下で分からないこともたくさんありました。そんな時は、先輩達が優しく、時に厳しく指導してくださいました。そのおかげもあり、今では高校の部活動や学校生活にも慣れることができました。また、監督やコーチ、OBの方々の指導を受ける中で秋工ラグビー部の一員であるということを一歩ひとりが自覚できるようになりました。

一年生は初め、ラグビーの基本的なスキルであるタックルやパスの練習を行いました。継続して頑張ってきたことで少しずつではありますが上達し、一年生の同士の試合では練習の成果を発揮することができました。初めての夏合宿では、辛いことや苦しいこともありましたが、そんな時は一年生同士で声を掛け、励ましあいながら乗り越えることができました。そして迎えた菅平合宿では全国の強豪校と試合をすることができました。やはり、全国のレベルは高く、自分達との差を痛感しました。この経験は絶対に無駄にせず、これからの練習に活かしていきたいと思ひます。

間もなく花園予選が始まります。先輩達は花園優勝に向けて厳しい練習を乗り越えてきました。そんな先輩達が今までやってきたことを全て出しきれるように、一年生も一丸となつてサポートしていきます。